

# 3. 清流ルネッサンスⅡのとりくみ

ステップ1 流域を6つに分けて、水環境の目標像を設定しました。

## 遠賀川下流水域

多くの人々が訪れ、水利用が盛んな遠賀川下流水域では、

- 川を訪れる人々が快適に水とふれあい、水遊びができる川を目指す。
- 馴染み深いテナガエビ、汽水域ではチクゼンハゼ、淡水域ではツチフキなどが多く棲める川を目指す。
- より安全で良質な水道水源となりうる川を目指す。

## 彦山川水域

伝統的に水との結びつきが強い彦山川水域では、

- 上流部では現在の泳ぐことができる自然豊かな川を保全し、中下流部では快適に水と触れあうことのできる川を目指す。
- 中流部ではアカザのような貴重な魚やサワガニが棲める川を、中下流部ではアユが棲める川を目指す。

## 犬鳴川水域

山と森に囲まれた犬鳴川水域では、

- ホタルが飛び交い、川泳ぎや水遊びができる美しい川を将来にわたって保全する。
- オヤニラミ・タナゴ類など貴重な魚が棲める環境を保全する。

## 穂波川水域

ベッドタウン化による地域開発により水質悪化が懸念される穂波川水域では、

- 水遊びができる現在の川の清らかさを将来においても保全する。
- インドジョウやスナヤツメなど貴重な魚が棲める環境を保全する。

## 遠賀川中上流水域

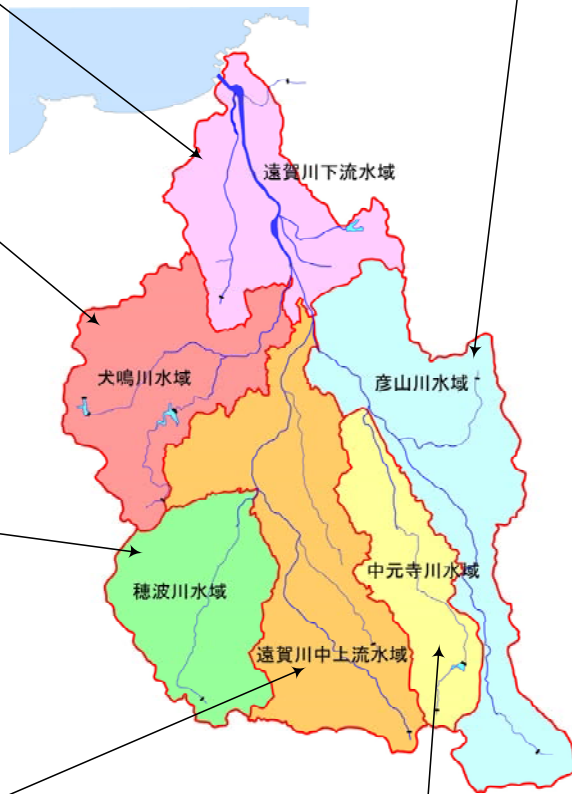
田園風景が広がる中を流れ、良好な河川景観を形成している遠賀川中上流水域では、

- ゆっくりとした川の流れ、堰から流れ落ちる水の清らかさなど多くの人々が憩いを感じることの出来る川を目指す。
- カマツカなどの魚影が多く見られ、サケが上れるような川を目指す。
- より安全で良質な水道水源となりうる川を目指す。

## 中元寺川水域

都市化に伴う水質悪化により川の魅力が乏しい中元寺川水域では、

- 清廉さが感じられ、川に近づきたくするような魅力ある川を目指す。
- ドンコ・カワムツなど馴染み深い魚が棲める川を目指す。



あわせて、流域全体の目標キャッチフレーズも決めました

キラッキラ！ やすらぎ、きよらか遠賀川

(公募の中から地域協議会にて決定)